

紙版画（単独版） （凸版）

□主に扱う学年・時間

1～3年 4時間

□版画の特徴

○切り取った形を貼ったりつないだりして  
版をつくり、写し取る版画

□準備する材料・用具

- ①版をつくる厚手の紙（ボール紙や画用紙）
- ②刷り紙（和紙など絵の具を吸いやすい紙）
- ③のり ④はさみ ⑤水性版画インク
- ⑥バレン ⑦ローラー ⑧インク練り板
- ⑨新聞紙 ⑩水性ニス ⑪刷毛
- ⑫手を洗う洗剤 ⑬タオル



2人なかよし(一つの版で2人にしたよ)

□授業のながれ

授業のながれ（子どもの活動）	教師の準備・支援
①紙版画について知る ・紙版画ってなに？	①参考作品鑑賞 ・上級生が刷った版画があれば参考に ・先生が刷ってみる
②表したい場面を考える ・何をつくらうかな 友達とあそんだよ サッカーをしたよ	②楽しかったことはなんだろう 発表してね ・学校で友達と ・おうちで家族と
③下絵を描く ・楽しかった場面を鉛筆で描く	③楽しそうなわたしを描こう ・動きのあるのびのびした絵にしよう
④版をつくる ・顔のパーツをつくる 顔の大きさを考えてボール紙を切る  ・他のパーツをつくる 手、腕、胴体、足、靴などをつくる	④ボール紙をはさみで切ろう ・はさみの使い方を練習しよう ・③の下絵を見ながら自分の顔をつくらう ・髪・まゆ・目・目玉・鼻・口・耳・首 ・手の大きさ・腕の長さ、形 ・胴体の大きさ・足の長さ、形を考えて

！さらに詳細は紙版画（台紙版）参照

### ⑤のりづけをする

- ・切り取ったパーツをのりで貼る
- ・貼り付けしたら、固まるまで画板などを版の上にのせておく

向こう側にあるものから貼ろう！

### ⑤新聞紙の上でのりづけしよう

- ・髪、顔、目、鼻、口などのパーツを顔や手足の表情を考えながら貼らせる。
- ・手のうごき、足の動きを考えながら、生き生きとした表現になるよう工夫しよう
- ・遠くにあるもの、向こうにあるものから先に貼ると遠近感がでる
- ・刷ったとき版の細かいところが剥がれないようにするために、次の時間までに、先生が版にニスを塗っておく
- ・目に入ったりしないように注意
- ・ラッカースプレーなどを使う方法もある

### ⑥版に水性ニスをぬる

- ・刷毛で水性ニスを塗る
- ・ニスを乾かす（1時間ぐらい）
- ・アルコールのにおいが嫌でなければ児童が塗ってもよい

ここからは2人一組がやりやすいかも

### ⑦刷る準備をしよう

- ・机の上に新聞紙を敷く
- ・新聞紙の上にインク練り板を置く
- ・インクをインク練り板の上に出す
- ・ローラーでインクをよく練る

### ⑦新聞紙を刷り台（机）の上に敷く

- ・インク練り板      ・ローラー
  - ・インクは学年・片付けを考えれば、水性版画インクがよい
- ！インクがハネないようにゆっくり練る

### ⑧刷り

- ・新聞紙の上に⑥でできた版を置く
- ・ローラーでその上にインクをつける
- ・インクをつけた版の下にきれいな紙を敷く（刷り紙より大きいきれいな紙）
- ・版の上に刷り紙を静かにのせる  
二人で ずれないように慎重に
- ・バレンで刷る  
刷り紙がずれないように押さえて  
バレンは手のひらをつかって  
全体に 丸く刷る
- ・刷り紙の真ん中に手を置き、刷り紙を半分上げて刷りを確かめる  
うまく刷れてるかな
- ・薄いところはローラーでインクを付けてもう一度刷る 協力して！
- ・さあ 刷り上がり！  
慎重に刷り紙を持ち上げて  
・・・やったあ 刷れた！

### ⑧刷り紙を準備

- ・台紙の大きさより大きい刷り紙にする
- ・版の下に敷いたきれいな紙（見当紙）にできるだけあわせるようにのせると、作品が曲がらず刷れる
- ・紙をのせるとき、手はきれいかな

### ！もう一つの刷り方

プレス機を使って刷る方法もあるが、やはり手刷り・バレン刷りの方が刷りの調子を確かめながら刷れてよい

